

尼崎事故十一周年弾劾！全国総決起集会報告

外注化阻止！非正規職撤廃で闘おう！

四月二四日に、尼崎事故十一周年弾劾！全国総決起集会が、JR尼崎駅北口広場で開催され、全国から二百三十人が集まりました。

司会は動労西日本近畿支部の東さんで、今年の尼崎闘争は、朝鮮侵略戦争超切迫情勢のもとで闘われていると訴えました。初めに、国鉄一〇四七名解雇撤回闘争の当該で、動労千葉の執行委員である中村さんから、〇五年の尼崎事故直後から動労千葉の全運転士が安全運転闘争に決起してJRに

警鐘を鳴らして闘ってきました。又自身が訪米し、ミーデー発祥の地・シカゴの労働者と連帯したとの報告がありました。

次に全日建運輸連帯労働組合関西生コン支部の書記次長の武谷さんから力強いメッセージが紹介されました。そして主催者挨拶は、港合同執行委員として我が支部の木下書記長。冒頭、熊本大地震災に触れ、未曾有の被害を出しながら、安倍政権が川内原発を安全だと強弁して稼働させ続けていることを弾劾しました。

そして港合同が国鉄闘争と橋下打倒闘争を一体で闘ってきた思いを述べ、国鉄闘争全国運動が提唱する新たな一〇四七名解雇撤回の署名運動を全力

で取り組んでいこうと提起。今春闘で表れた拠点支部での外注化・非正規職化攻撃を団結破壊・組織破壊攻撃として全力で闘う決意を表明。支部組合事務所を訪問してくれた韓国民主労総ソウル地域本部、原発ツアーでお世話になった京都府職労舞鶴支部との交流を紹介して、労働組合が闘うの



か闘わないのかが問われる時代に、執行部がぶれずに闘う旗を立て続ければ一気に団結は拡大すること、労働者は一つだと提起。JR資本と安倍政権を許さず闘おうと呼びかけました。

次に基調報告を動労西日本近畿支部の原田支部長が提起し、第二の分割・民営化、外注化・非正規

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

化がもたらす安全崩壊に
反合運動保安闘争で闘お
うと訴えました。そして
全国の動労総連合の各組
合の発言があり、動労九
州の羽広委員長は、熊本
大震災現地救援本部を設
置し、仮救援事務所を置
いて被災者救援活動を開
始しましたと報告があり
ました。

その後、国鉄闘争全国
運動関西に参加する関西
各労働組合からの決意表
明が続きました。

最後に動労西日本近畿
支部の橘さんのまとめと
団結ガンバローで締めく
くり、尼崎事故現場まで
デモを行い、労働者や地
域の皆さんに尼崎事故弾

効を訴えました。

鉄道という安全が最大
の使命のはずの公共交通
機関が、ひたすら利潤追
及に走っていた結果がこ
のような大惨事を起こし
たのです。このようなこ
とを許さず、声を上げて
いかなければならないと
思いました。

昌一金属支部 N・K



民主労総がウチの事務所に来た!

民主労総の全国教職員
組合(全教組)ソウル本
部長のイソンテ氏とソウ
ル地域本部組織局長のユ
サンホン氏のお二人が、
関西入管集会参加を終え
て翌日、帰国までの時間
を利用して、昌一金属支
部の組合事務所を訪問し
てくださいました。

海外からの訪問は初め

てで、ゼネストを闘う民
主労総ということでは行
部も緊張しましたが、と
ても和気あいあいと交流
ができました。日本の金
属労組との交流を喜んで
くれて、港合同の闘いの
歴史や運動の考え方にも
関心をもってくれて、と
ても楽しい時間でした。

昌一金属支部・K



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!